

令和5年(2023年)度 年間授業計画(シラバス)									
学年	2	学科	会計ビジネス科	単位	3	教科	商業	科目	財務会計 I
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「新財務会計 I」実教出版 ・「新検定基準 最新段階式 簿記検定問題集 全商1級会計」(実教出版) 								
学習目標	<p>(1)財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。</p> <p>(3)会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用による主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>								
単元と学習内容									
1 学 期	第1編 財務会計の基礎 第1章 企業と会計 第2章 企業会計制度と会計法規 第2編 貸借対照表 第3章 貸借対照表のあらまし 第4章 資産の意味・分類・評価 第5章 流動資産当座資産 第6章 流動資産棚卸資産・その他の流動資産 第7章 固定資産有形固定資産 第8章 固定資産無形固定資産 第9章 固定資産投資その他の資産 第10章 負債の意味と分類 第11章 流動負債 第12章 固定負債	<ul style="list-style-type: none"> ・企業会計の意味と役割について理解させる。 ・財務会計の機能について理解させる。 ・株式会社の基礎的な会計処理について理解させる。 ・会計法規にはどのようなものがあるか理解させる。 ・財務諸表の種類を明らかにする。 ・貸借対照表の意味と役割を理解させる。 ・当座資産の意味および種類を理解させる。 ・棚卸資産の意味と種類を理解させる。 ・当座資産・棚卸資産以外の流動資産にどのようなものがあるか理解させる。 ・有形固定資産の意味と種類を理解させる。 ・固定資産の除却と買い替えの記帳について習熟させる。 ・無形固定資産の意味と種類を理解させる。 ・投資その他の資産の意味と種類を理解させる。 ・負債の意味・分類について、基礎的知識を習得させる。 ・流動負債の各項目の内容を正確に習得させる。 ・固定負債の各項目の内容を正確に習得させる。 							
2 学 期	第13章 純資産の意味と分類 第14章 資本金 第15章 資本剰余金 第16章 利益剰余金 第17章 自己株式 第18章 新株予約権 第19章 貸借対照表の作成 第3編 損益計算書 第20章 損益計算書のあらまし 第21章 損益計算の意味と基準 第22章 売上高 第23章 売上原価、販売費及び一般管理費 第24章 営業外費用・営業外収益 第25章 特別利益・特別損失 第26章 損益計算書の作成 第27章 その他の財務諸表	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産の意味と分類を明らかにする。 ・株式会社の株主資本の分類および内容を理解させる。 ・資本剰余金の意味を明らかにする。 ・利益剰余金の意味を明らかにする。 ・自己株式の意味を理解させる。 ・新株予約権の意味を理解させる。 ・貸借対照表作成上の諸原則を明らかにし、その作成方法を習得させる。 ・損益計算書の意味と役割を理解させる。 ・売上高の意味を理解させる。 ・売上原価の意味と計算方法を理解させる。 ・販売費及び一般管理費の意味を理解させる。 ・営業外収益・営業外費用の内容を明らかにし、経常損益の概念を理解させる。 ・損益計算書作成上の諸原則を明らかにし、その作成方法を習得させる。 ・株主資本等変動計算書の意味とその作成方法を理解させる。 							
3 学 期	第4編 その他の会計処理 第28章 役務収益・役務原価 第29章 外貨建取引 第30章 税効果会計 第5編 財務諸表の活用 第31章 財務諸表のディスクロージャー 第32章 財務諸表分析 第33章 連結財務諸表のあらまし 発展編 連結財務諸表の作成 第34章 連結財務諸表の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・役務収益・役務原価の意味を理解させる。 ・外貨建取引の意味を理解させる。 ・税効果会計の意味と役割を理解させる。 ・企業と利害関係者およびディスクロージャーについて理解させる。 ・財務諸表分析の意味・方法を明らかにする。 ・連結財務諸表の意味や目的を明らかにし、連結財務諸表の概略を理解させる。 ・連結財務諸表の作成手続きを理解させる。 ・連結精算表の作成を習得させる。 							

評 価					
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック		
			1期末	2期末	学年末
①	知識・技能	企業会計の意味と役割, 株式会社制度の特徴と基本的な会計処理について理解している。	○	○	○
②	思考・判断・表現	様々な処理方法や記帳方法について、なぜ、そのように行うかなど自ら思考を深め、知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫できる。	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	財務会計簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むことができる。	○	○	○
評価方法	①	②	③		
	㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等	㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等	㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等		